

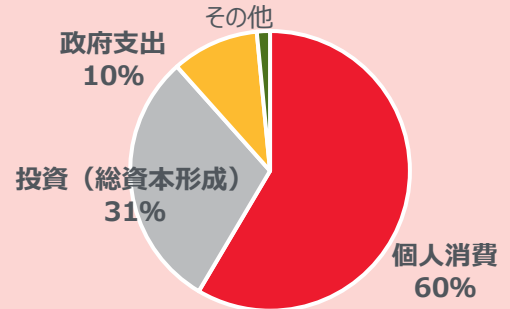
今、インド株式に注目する 3つの理由



1. 関税や海外景気の影響を受けにくいインド、分散先として有効

- インドは**主要国で最も高い経済成長**が期待される*ことに加え、国内消費やインフラ投資などの内需が経済を牽引しているため、**関税や海外景気の影響を相対的に受けにくく、分散投資先として有効な資産**と言えます。

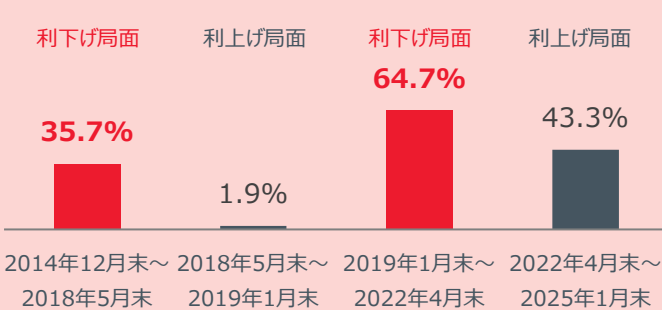
インドの名目GDP内訳（2023年度）



出所：インド準備銀行、のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*IMF世界経済見通しデータベース（2025年4月）、2025-2030年の年率成長率（名目GDPランキング上位50カ国を対象）。
※右図のその他は、純輸出（輸出-輸入）の-2%を含む。四捨五入の関係で数値の合計が一致しない場合があります。
※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2023年度は2023年4月～2024年3月。

2. 政府や中央銀行が景気をサポート、利下げ局面はインド株投資の好機

過去の利下げ局面のインド株**の騰落率（月次）



- 2025年2月に**大規模な減税**を発表したことに加え、2025年に入りインド準備銀行（中央銀行）が**段階的に政策金利の引き下げ**（3会合連続）を実施するなど、**国内景気と企業業績は改善**が期待されます。過去利下げ局面では大きく株価が上昇しました。

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
**Nifty50指数、現地通貨ベース、トータル・リターン（グロス）。
※利下げ局面は、利下げ開始前月末から利上げ開始前月末までで計算。

3. 経済規模日本超えやオリンピック招致期待など、さらに注目度が高まる可能性

- インドは2025年に**名目GDPで日本を抜き**、2028年には**ドイツを抜いて世界3位**の経済大国となることが予想されています。
- また、近く開催地が決定することが見込まれる2036年のオリンピックに**インドが立候補を表明**するなど、今後ますます世界から注目されることが期待されます。

名目GDP（国内総生産）ランキング
（いずれも予想値、単位：兆米ドル）

(2025年)			(2028年)		
1	米国	30.5	1	米国	34.3
2	中国	19.2	2	中国	23.1
3	ドイツ	4.7	3	インド	5.6
4	インド	4.2	4	ドイツ	5.3
5	日本	4.2	5	日本	4.7

出所：IMF世界経済見通しデータベース（2025年4月）のデータ、各種報道等に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会